

# わいえん

第8号

令和6年 1月12日  
九重町立淮園小学校  
文責 大野光代

## 3学期がはじまりました！ 来年度へむけて<sup>はじめ</sup>一の一步を！



1月9日から3学期が始まりました。始業式では、各学年の代表が、冬休みの思い出や3学期に頑張ることを発表し、よいスタートが切れました。

私からは、子どもたちに「一」の文字を提示し、「はじめ」と読むこと。「何事も自分から始めて、一つでも出来ることを増やす3学期にしてほしい。」と願いを伝えました。元気な淮園っ子と2024年を迎えられ安心しました。一つ一つ、命も時間も積み重ねていける幸せを感じながら、淮園小の新たな一歩を進めていきます。

## 自分の夢をつかんで！ 淮園っ子も世界へ羽ばたけ！



淮園小にも、大谷翔平選手からのサイン入りグローブが届きました。始業式後に紹介し、淮園っ子全員がグローブを手に入れました。子どもたちは早速、体育でグローブをはめてキャッチボールを楽しみました。世界で活躍する大谷選手のように、一つのこと打ち込んで、自分の夢をかなえてほしいと思います。



## 2024年も 淮園小をよろしくお願いいたします！

2024年の幕開けは、能登半島の震災と悲しい出来事からはじまりました。淮園っ子も心を痛み、始業式に黙祷しました。今、自分たちに出来ることをしようと児童会を中心に考えています。

淮園小では、当たり前の日常を有難く思い、自分の命を大切に、皆と力を合わせていく心優しい子を今年も育てていきます。保護者、地域の皆様のかかわりぬご理解ご支援をよろしくお願いいたします。



淮園っ子の個性あふれる手作りのお皿やカップ  
当たり前に学校がある日々を幸せに思います